

# 学生の行動で 原発再稼働止めよう!

# 4/19 法大デモ 文科省行動へ



「再稼働やめろ！」  
「枝野は福井に行くな！」  
霞ヶ関は怒りに包まれた

4月11日夜、雨が降る中、原発再稼働阻止を決意した人々が霞ヶ関一帯のデモに立ち上がった。経産省や関西電力に向けて「再稼働やめろ」と声を上げた。法政大学文化連盟は横断幕を掲げ、デモコールを行い、デモを盛り上げた。【左：4月12日付東京新聞】



**党首討**

大飯原発の再稼働が実現する中、国会で十一日、野田佳彦首相と民主党の山岡賢二代表の発言討論が行われたが、再稼働阻止には失敗し、素通りした。一方、国会周辺では再稼働を阻止しようとする市民約七百人（主催者発表）がデモ行進した。国民の関心事から逃げるかのような政治の姿勢が問われる。

**反対派 国会へデモ**

デモ行進は、市民の雨の中、日比谷公園を列、「再稼働、やめよう」掛け声をあげ、国会議事堂や関西電力東京支社などを通り約五キロを歩いた。国会前で「市民を欺くさらす再稼働ではない、原発ゼロを政治的胆識すべし」と訴えるデモ隊が、

すべての法大生の皆さん！ 来る4月19日正午、法政大学市ヶ谷キャンパス中央に集まり、一緒に総長室のある九段校舎へのデモに立ち上がることを訴えます。

この日は、日本で最も学生を強権的に弾圧している大学、当局が勝手に作った規制やルールで縛りつけ、学生の存在をおとしめている大学である法政大学市ヶ谷キャンパスのど真ん中から、「学生は物言わぬ奴隷ではない、おかしいことにおかしいと声を上げる存在だ」ということを示す日です。全国の学生がこの法政大学に結集してともに声を上げます。法大生の行動で、大学を変え、社会を変えよう。

何よりも、福島を切り捨てて行われようとしている原発再稼働に絶対反対の意志を大学キャンパスから示す日です。法大生は、一緒に声を上げよう！

**安全策実現は数年後**

**大飯工程表を了承**

再稼働問題 電力需給検証へ

首相閣僚協議は継続

4月10日付東京新聞



**全日本学生自治会総連合 ( 齋藤郁真委員長 )**  
 TEL 050-3036-6464 <http://www.zengakuren.jp/> [mail\\_cn001@zengakuren.jp](mailto:mail_cn001@zengakuren.jp)

# 「原発再稼働阻止! 不当処分を撤回しろ!!」法大包围デモ

4月19日(木) 正午 法政大学市ヶ谷キャンパス正門前集合  
(総長室のある九段校舎に向かったのデモ)

## 文部科学省に対する申し入れ-包围行動

4月19日(木) 15時 経済産業省前テント集合  
「20<sup>世紀</sup>シールド基準」撤回を求める申し入れ書を提出します。

行動終了後の18~20時に屋内会場で総括集会を行います。

【呼びかけ】4・19法大 - 文部科学省行動実行委員会

### あと一基! 4・19を再稼働を止める日に

まず何よりも、政府は5月5日の全原発停止という事態を前に、追いつめられているということです。この1年間、福島のとつながついて、一基の再稼働も許さない闘いを全国で展開してきたからです。

しかしながら、政府はどんなに大義がなく、民衆の怒りを爆発させることになろうとも「命よりも原発」の政策を貫き、再稼働を押し通そうとしています。これは私たちだけでなく私たちの子や孫の未来すらかかった問題です。絶対反対の声を上げ、再稼働をぶっ止める時です。

そもそも、今再稼働をしようとしている連中こそ、これまで原発は絶対安全という嘘を振りまき、暴力と金で反対の声を押さえつけて福島第一原子力発電所の事故を引き起こした犯罪者に他なりません。本来刑務所に入るべきです。にもかかわらず何の責任も取らないどころか、再稼働を強

行して、フクシマを何度でも繰り返そうとしているのです。こんなことは許していいわけがありません!

4月が勝負です。ここで学生が黙っていて本当にいいのか。学生が真剣に立ち上がれば、必ず社会はそれに続きます。「仕方がない」と思われてきた自分たち自身を変える時です。4月19日、原発を止め社会を変える壮大な行動を!

### 何が「危険サークル」だ

#### 4・19を法大生の誇りを取り戻す日に

法政大学当局は、徹底して学生を奴隷におとしめようとしてきました。その象徴が、「おかしい」と声を上げる学生への退学・停学などの不当処分であり、さらには大学の不当処分に対して、許さないと声を上げているサークルや学生団体を「危険サークルだから近づくな」などと、レッテル貼りをして学生を分断していることです。

加えて、今回入学した新生生に対しては、学生センターがオールラウンド系の特定のサークルを名指しして「危険サークル」などと大宣伝し、学生の誇りも主体性もズタズタに奪うということをやってきました。こんなものは、サークル破壊であり新歓破壊以外の何ものでもない。法大当局の腐敗と学生蔑視、ここにきわまったということです。法大当局はサークル破壊文書を撤回・謝罪せよ。

学生の存在をおとしめる大学とは、「命よりも金」の原発政策に加担する大学であり、同時にむちゃくちゃ高い学費をボッタクリ、学生を借金漬けにして未来を奪う極悪企業そのものです。学生の団結破壊と金儲け第一の新自由主義攻撃が学生の未来を奪っているのです。

私たちはそれを断じて許さない。法政大学文化連盟は、07年に法大当局が一方的に決めた学生団体解散・非公認化の攻撃に屈せず、闘って学生の団結と自治を守り抜いてきた組織です。法大生は当局に屈する存在ではないことを体をはって示し続けている、法大生の誇りと自主性の象徴です。現在、大学によって不当に処分された学友を大学キャンパスに取り戻すために闘っています!

4月19日を、この法政大学市ヶ谷キャンパスで、学生が誇りを取り戻す日にしよう。法大当局が許せないすべての法大生に集まってほしい。「処分撤回! サークル破壊許さな! 大学を学生の手に取り戻そう!」の法大包围デモへ!



